## 静岡県イベント開催におけるチェックリスト(主催者用)

イベント名	みんなでソーレ! ~カヌーだよ!全員集合~	担当課	焼津青少年の家	
開催日時	令和3年10月3日(日)午前の部 8:30~12:00 午後の部 12:30~16:00			
会 場	焼津青少年の家、小川港周辺海域		収容人数	220 人
参加者想定	56 人(うち高齢者0人、障害のある方0人、子ども:	30 人程度)	収容率	25. 5 %
イベント類型	□大声歓声等なし( )※1	☑大声歓声等あり(カヌー漕艇時のかけ声)※1		
イベント類生	☑収容率 50%以内(収容人数1万人超・大声歓声等あり※の場合)	☑5,000 人以下(収容人数1万人以下の場合)		
	☑入退場や区域内の適切な行動確保が可能	□入退場や区域内の適切な行動確保が困難		
イベントの性質	☑参加者の位置が固定(座席や立ち位置固定)	□参加者が自由に移動できる		
	☑名簿等で参加者の把握が可能	□名簿等で参加る	者の把握が困難	

※1 ( )には、クラシック音楽、演劇、伝統芸能、公演・式典、展示会、ロックコンサート、スポーツイベント、公演などを記載

※2 同一グループ (5人以内) では座席間隔を設けなくともよいため、収容率が 50%を超える場合がある

項目 チェック内容 具体的な対応

### (1) 全般的な事項

・事前予約した者のみの参 ☑施設管理者等と協力・役割分担の上、適切な感染防止策を実施 ☑参加者が、感染防止対策が講じられているか確認することができるように、会場 加とする、かつ感染防止 内の適切な場所へのチェックリストの掲示、ホームページでの公表を実施 対策を事前に提示し、そ れについて承知した参 ☑各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認 ☑可能な限り、事前予約制の導入や入場時における参加者等の住所・氏名等の確認 加者のみの受入となる。 全般的な事項 (個人情報の取扱いには十分注意、参加者等に対して必要に応じて保健所等の公 ・イベント終了後、休所日 であっても所員との連 的機関へ提供されることを事前に周知) ☑参加者への接触確認アプリの利用の呼び掛け 絡が取れるよう、本所の ☑イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告が 携帯番号をプリントし 配布する予定。 あった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応 方針を決めておくこと

#### (2) イベント参加者への依頼

#### ・1週間前からの検温を実 施してもらう。発熱・体 ☑参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせ 調不良の場合は参加を ・体調がよくない場合 (例:発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合) 見合わせてもらう。 ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある場合 ・あらかじめ参加者の氏 ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 名・電話番号等は確認さ イベント前後 ☑接触確認アプリの利用 れている。 ☑感染拡大防止のために主催者から連絡先登録等の求めがある場合、積極的に応じること ・イベント終了後、休所日 ☑イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健 であっても所員との連 所が実施する行動履歴等の調査への協力を要請 絡が取れるよう、本所の 携帯番号をプリントし 配布する予定。 ☑マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒 ・受付時に手指消毒や3つ 図参加者、スタッフ等との充分な距離等の確保(障害のある方等の誘導・介助を行 の密の回避等について う場合を除く) 確認をする。 イベント中 ☑イベント中の大きな声での会話禁止 カヌー漕艇はマウスシー ☑原則として、ごみは持ち帰る ルドを貸し出して、かけ ☑その他、感染防止のために主催者が決めた措置や主催者指示の遵守 声をかけて行う。

#### (3) 施設・会場(施設管理者と協力・役割分担の上、実施)

	接触感染		・高頻度接触部位のドアノ
		☑他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定	ブ、蛇口にはレバーを設
		☑高頻度接触部位(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、	置。座席は指定とし同じ
リスク評価		キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり・つり革、エレベ	場所に座る。トイレのス
		ーターのボタンなど)には特に注意	イッチは常時点灯して
			おく。
	飛沫感染		・基本的に施設内で大声を
			出す場面はない。屋外の
		☑換気の状況を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか、施設内で大	カヌー漕艇では全員同
		声などを出す場がどこにあるかなどを評価	じ方向を向いてマウス
			シールドをした状態で
			かけ声を出す。前後の間

		隔は1.4m~0.7m
本会場	☑会場の換気の徹底(窓開け、機械換気、法令等を遵守した空調設備の設置など) ☑可能な限り換気状況のモニタリング(二酸化炭素濃度計測装置の設置等) ☑不特定多数が接触する場所は、定期的に清拭消毒を実施	・研修室は基本常時換気と する。 ・階段手すり等は所で消毒 をする。
共用物品・設備 の消毒等	<ul><li>☑他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする</li><li>☑複数の人の手が触れる場所・物品を適宜消毒。特に、手や口が触れるものは、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を実施</li></ul>	・海洋活動の乗船下船の際 利用するはしごは複数 の人が触れる箇所とな るため、前半の休憩前 (小川港上陸後)は消 毒、後半(艇庫)は手洗 いを行う。
トイレ	<ul><li>☑便器内は、通常の清掃</li><li>☑不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を実施</li><li>☑トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示</li></ul>	・館内の消毒や表示は従前より対応済み。
ロビー・ 休憩スペース	<ul><li>☑一度に休憩する人数を減らす。</li><li>☑食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、自粛を要請</li><li>☑休憩スペースは、常時換気を実施</li></ul>	<ul><li>・各階のソファーは1つ置きに座るようラミネート対応。</li><li>・1F休憩スペースは解放しない。</li></ul>
ゴミの廃棄	☑鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。	<ul><li>・ゴミの持ち帰りをお願いする。ゴミ箱は設置しない。</li></ul>
清掃・消毒	☑通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を清拭消毒(開催前後) ☑イベント開催中も、必要に応じて、手すり等の共用部を消毒 ☑手が触れることがない床や壁は、通常の清掃	・清掃業者による清掃と消毒を行う。

# (4)運営

開催・運営に 当たっての 留意点	<ul> <li>☑イベント時間は、可能な限り短縮し、感染リスクを圧縮</li> <li>☑主催者は、参加者等に対し原則、マスク着用を依頼すること。ただし、同時に熱中症等対策を講じる場合は、着用の必要性を確認し、参加者等に注意喚起すること</li> <li>☑マスクを持参していない参加者に対しては主催者がマスクを配布すること</li> <li>☑至近距離での対面接触の機会を縮減</li> <li>☑人と人との間隔を確保(人と人とが触れ合わない程度の距離)</li> <li>☑大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるよう、人員を配置するなど体制を整備</li> <li>☑寒冷な場面における換気等については、適切な室内環境を維持しつつ、十分な換気を行うこと(温度は18℃、湿度は40%以上が目安)</li> </ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
当日の受付時の対応	<ul> <li>☑入口、受付窓口に手指消毒剤の設置</li> <li>☑参加者の検温(非接触型)や赤外線カメラで体温を確認</li> <li>☑発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方は入場させない</li> <li>☑人と人が対面する場所は、アクリル板や透明ビニールカーテンなどで遮蔽</li> <li>☑受付を行うスタッフは、マスクを着用</li> <li>☑参加者に対して、「イベント参加者への依頼事項」の呼びかけ</li> </ul>	<ul><li>・ 受付担当が当日の体調をチェックする(含検温)と共に1週間前からの健康状態を確認する。</li><li>・ 依頼事項についてはじめの会で確認をする。</li></ul>
演者・イベント スタッフ等	<ul> <li>☑演者・イベントスタッフ及びその家族の出勤前の検温・体調確認を徹底し、発熱がある場合等は自宅待機とする</li> <li>☑マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底</li> <li>☑スタッフのユニフォーム等については、こまめに洗濯を行い、清潔に保つ</li> <li>☑イベント中に体調変化をきたしたスタッフがいないか注意</li> <li>☑休憩場所は、窓を開けるなど換気を徹底</li> </ul>	・所員は毎日の検温等を続ける。

		☑スタッフに対する感染防止に係る教育の実施(アルバイトを含む)	
	大声歓声等ない場合	☑定められた人数上限、収容率を遵守し、間隔は密が発生しない程度(最低限人と 人が接触しない程度の間隔)とすること	・艇庫でのレクチャーでは 縦横とも人と約1m空 けた間隔で並ぶ。
参加者	大声歓声等ある場合	☑マスク着用を厳守	<ul><li>・カヌー漕艇中はマウスシールドをしてかけ声を 出す。カヌー1座席に1 人前後の間隔は0.7m だが全員同じ方向を向く。</li></ul>
	展示会・お 祭り・野外 フェス等	□定められた人数上限、収容率を遵守し、充分な人と人との間隔(1 m)を確保すること	該当せず
华	勿販・売店	□物販、売店、飲食は最低限とし、次に留意する □人員整理などによる待ち行列の間隔確保(足型設置)、抑制への配慮 □売店、飲食スペースの厳重な衛生的配慮(できない場合は物販等の実施を認めない)	該当せず
	飲食	<ul><li>☑飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限</li><li>☑休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底</li></ul>	・休憩中の水分補給は屋 外。間隔を空けて水分補 給を行うよう掲示・指導 する。
マ	スメディア (取材)	□取材時の人と人との間隔確保 □取材者の把握及び注意事項等の徹底 □マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底	該当せず
	口者等の動線、 人員整理等	□会場内、動線上、人員を滞留させない □誘導員による適切な誘導 □複数かつ余裕のある人員動線の確保 □多様な交通手段の提示や時間差入退場などの工夫	該当せず
	易までの輸送 ヤトルバス)	□鉄道駅・駐車場等と会場間にシャトルバスを運行する場合は、バス利用者が間隔を空けて着席できるようにする □バスは、常時窓を開けるなど換気を徹底 □利用者に対して、会話を避けるよう呼びかけ □乗車場所の行列・待機の立ち位置を明示するなど、間隔の確保 □乗車待ち時の熱中症対策などを実施(乗車場所、待合場所の工夫)	該当せず

### (5) 事前会議・打合せ

東芸の人業	☑イベント開催に当たっての会議・打合せは、必要最低限の人数で実施	・打合せを狭い部屋から、
事前の会議・	☑会議・打合せ時間は、可能な限り短縮(事前の資料配布など、方法の工夫)	広い部屋で行うよう変
打合せ	☑会議・打合せは、可能な限り広い空間で行い、換気を徹底	更。

# (6) スポーツイベントに関する特記事項

イベント参加者への依頼事項	図参加者の体調確認のため、体温等を事前報告(個人情報の取扱いに注意し、必要に応じて住所・氏名等も確認) 図運動・スポーツ時以外のマスク着用(運動・スポーツ時のマスク着用は参加者等の判断による)	・受付時に体調確認。マスク 着用については連絡済み。
施設・会場	☑更衣室、休憩・待機スペースは、三つの密を避け、高頻度接触部位の消毒の実施	<ul><li>はじめの会は家族ごとのテーブルに着席する。</li><li>艇庫でのレクチャーは場所が固定となる。</li><li>場所が固定となる。とりでは、他家族と間隔をとって水分補給をしてもらう。</li></ul>
運営	☑参加者に飲食物(栄養補給)を提供する際には、手洗い・手指消毒の実施の呼びかけ、大皿での供与はしないなど、配慮する	<ul><li>・前半のカヌーを漕ぎ終わった後水分補給となるが、必ず手指消毒をする。</li></ul>